

■ ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/eaba.html>

★ 現在、農業担い手メールマガジンでは読者アンケートを1/21まで実施中しています。皆様のご意見を、是非お聞かせ願いたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。なおアンケートの詳細については前月号である第150号をご覧ください。

アンケートのHPアドレスはこちらです →

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/12d7.html>

◆◆◆お知らせ◆◆◆ ～女性農業者等を対象とした全国研修会～

農山漁村男女共同参画推進協議会では、「農商工連携女性起業高度化」及び「農業法人における女性が働き続けやすい就業条件・就業環境」に関する全国研修会を開催いたします。概要は以下のようになっています。

<日時>

2月17日（木）13:00～17:00（12:00受付開始）

2月18日（金）10:00～12:45（9:30受付開始）

<場所>

日本女子大学 目白キャンパス 新泉山館(しんせんざんかん)

国際交流センター会議室（〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1）

<研修申込みについて>

定員：17日、18日両日共に先着140名

〆切：1月28日（金）（「お知らせ」末尾のPDFファイルの参加申込書（別紙1）に必要事項を記入し、FAXしてください。）

本研修会の内容はこれからの女性起業活動をベースとした6次産業化の発展や、農業法人における人材育成と経営発展に大いに資するものとなっています。特に2月18日（金）は、日本農業法人協会の協力により実施した現地調査と全国の農業法人へのアンケート結果をもとに、農業法人の経営改善につながり、かつ女性が意欲を持って働き続けることができる就業条件や就業環境を明らかにするとともに、人材育成のポイントなど、これまでにない知見が入手できます。是非2日間通してご参加下さい。ご都合により初日のみや2日目のみの参加も可能です。女性農業者、農業法人経営者、普及指導員、行政担当者、農業団体担当者などに関心のある方はどなたでも参加出来ます。参加費は無料です。

■ 詳しくはこちらをご覧ください→

http://www.weli.or.jp/council/pdf/h22_seminarsyouwa.pdf

■ お問い合わせはこちら

社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会 調査研究課

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階

TEL：03-5777-5383 FAX：03-5777-5385

担当 安倍・半澤・石井（事務担当）

Mail hanzawa@weli.or.jp（半澤）

◆◆◆担い手のための耳寄り情報◆◆◆ ～簡単操作の営農計画作成支援ソフト「Z-BFM」～

規模拡大や多角化などの経営改善をめざしている農業者の皆さんには、季節ごとの作業計画や農業機械の減価償却、農産物価格の変化などの様々な要素を考慮した効率的な営農計画を立てることが求められています。こうした計画策定には詳しい経営データと高度な技能が必要です。

そこで、(独)農研機構中央農業総合研究センターでは、JA全農営農販売企画部と共同で、農業者による経営改善計画の策定やJAなど指導機関の担当者による営農指導に資することを目的として、「営農計画策定支援システムZ-BFM」を開発しました。Z-BFMは、エクセル上で動くアドインソフトであり、担い手の皆さんや指導機関担当者が、規模拡大、雇用労働力の導入、作付構成の見直しなど様々な経営計画案を検討する際に活用できる便利な経営管理ソフトです。

その主な特徴は次のとおりです。

- (1) 線形計画法という手法を用いて、最も収益の高い作物の組み合わせや労働配分などの営農計画案を作成できます。
- (2) 分析手法に詳しくなくても、一連の手順に従って、耕地面積や農業従事者数、機械・施設等の情報を入力するだけで、効率的に分析を行えます。
- (3) 分析に必要な経営指標（作物ごとの収入や費用、労働時間）もデータベース化されていますので、手元に詳しい経営データがない方も営農計画案を策定できます。
- (4) 分析結果は、現在の経営概況と比較しながら、分かりやすく示され、最適な経営を行った際の経営収支や経営指標（所得率、1人あたり所得、作物ごとの10aあたり費用など）が表示されるとともに、旬別労働時間は作物ごとにグラフ表示されます。
- (5) 単収や価格などを変化させて経営収支への影響を簡易に分析する試算計画法と呼ばれる分析機能も組み込んでいるため、経営改善効果を細かく把握、検討することができます。

■ このソフトは、(独)農研機構中央農業総合研究センターの農業経営研究チームのホームページから無料でダウンロード可能であり、分かりやすい操作マニュアルや分析手法についての解説も、同じホームページからダウンロードできます。詳しくは以下のHPをご参照下さい

→ <http://keieikenkyu.narcb.affrc.go.jp/>

■ 「営農計画策定支援システムZ-BFM」については、以下にお問い合わせ下さい

→ fmnarc@naro.affrc.go.jp

(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 農業経営研究チーム 〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1 TEL/029-838-8876 FAX/029-838-8515)

◇◇◇編集後記◇◇◇

今年初めての編集後記ということで、遅ればせながら、皆様、明けましておめでと

うございます。本年もどうぞ農業担い手メールマガジンをよろしくお願ひいたします。

さて、2011年のメールマガジンは前月号である、記念すべき第150号からスタートしました。この第150号ではご愛読いただいている、皆様のご意見をお伺いするべく、読者アンケートを実施させていただいております。このアンケートにおいて、皆様が日頃感じていらっしゃる、当メールマガジンの記事に対しての印象や、今後取り上げてほしい内容、さらに農林水産省の施策に対するご意見等を、この機会に是非たくさんお聞かせ願えればと思います。ご協力、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(wH & Hy)



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日：毎月2回発行

○ 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：橋本・表谷

☆ 農林水産省担い手ホームページもご覧ください！

～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～

→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

